

JAだより

2

2018

February

第116号



特集

平成30年度営農事業方針

表紙の写真

かき餅編みに挑戦
(蝶屋小学校5年生)

(農)井関生産組合では、地元産のもち米「白山もち」を使用したかきもち作りが最盛期を迎えた。寒の時期に毎年地元の小学生、園児の見学を受け入れており、組合員の協力の元編み上げ体験を通じて地域の伝統を次世代へつなぐ役目を担っている。



営農事業方針

平成30年度 品目別地域作付目標面積

(ha)

	ブロッコリー	ネ ギ	丸いも	ニンジン	カボチャ
蝶屋地区	0.5	3.2			0.3
つるぎ地区	16.0	1.8	1.1		0.4
手取地区	8.6		1.1	1.8	1.0
計	25.1	5.0	2.2	1.8	1.7
H29実績	22.0	4.0	2.2	1.5	0.8

品目別販売計画及び実績（直売所含む）

(万円)

	H29 計画	H29 見込	H30 計画	H31	H32
ブロッコリー	5,100	3,879	5,940	6,770	7,260
ネ ギ	2,070	1,624	3,470	5,540	6,000
丸いも	780	418	970	1,200	1,510
カボチャ	300	127	400	500	500
ニンジン	600	250	700	800	800
花 卉	850	1,891	900	950	1,000
菌茸類	800	1,041	900	1,000	1,000
計	10,500	9,230	13,280	16,760	18,070

（２）園芸作物の周年栽培による出荷量拡大

- ① ハウス園芸の周年栽培による生産拡大
園芸ハウス設置（３ヵ年30棟目標）と作付体系提案
- ② 主要園芸品目の有利販売と販路拡大のため、仲卸・流通業者との連携及び系統流通、加工業者への販売強化
- ③ そば＋カボチャ等の作付による生産拡大

（３）直売所「よらんかいねえ広場」道の駅「めぐみ白山」での販売拡充

- ① 産直取扱高の拡大 平成30年度産直品販売高目標 2.5億円
H29実績見込み 2.2億円（内1号会員販売割合 55%）
- ② 産直会員の販売拡大
平成30年目標 300万円以上の生産者3名、200万円以上の生産者10名
100万円以上の生産者25名
- ③ 産直会員の拡大 H30 目標390名（1号会員250名 2号会員140名）
※家庭菜園耕作者や定年退職者への働きかけ
- ④ 中山間地農業活性化のため山菜・花卉等の生産拡大を推進
- ⑤ ハウス利用による通年栽培と不足野菜の生産拡大
新設や水稻育苗後のハウス利用による通年栽培や水耕栽培（ういずOne等）、果樹栽培での希少・不足野菜出荷・冬季出荷での所得増大
- ⑥ 地場産品を活用した加工品の拡大
地元産品を活用した惣菜、スイーツ、発酵食品、もち類、パン類、漬物等の商品開発



JA白山平成30年度

第11回理事会において、平成30年度の営農事業方針を決定いたしました。JA白山では、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を基軸に自己改革を加速させてまいります。

基本方針

JA白山の地域特性を生かした農地の有効利用や園芸振興による農業経営の複合化により、地域農業の活性化と農業生産の拡大及び農業者の所得増大を図る。尚、今年度より国による米の生産数量目標配分や米の直接支払交付金（7,500円/10a）が廃止される中、米の価格維持に向けて生産者・JA・行政が連携し需要に応じた生産調整が不可欠であり、今後は県活性化協議会が提示する生産基準数量の達成を図る。

1. 水田フル活用による生産拡大と補助政策を最大限生かした所得増大

（1）需要に応じた米、麦、大豆、そばの計画生産

- ① 主食用米はコシヒカリ、ゆめみづほを中心に、酒米、もち米等は需要に応じた生産を行い、生産調整率32.2%を達成する。
 - ・主食用米 1,033ha
- ② 大豆、麦、そばの生産
 - ・大豆80ha(全面積の5.4%)、麦19ha(同1.2%)、そば30ha(同2%)
- ③ 制度米の加工用米・政府備蓄米・輸出米・飼料用米の生産
 - ・制度米 100ha（全面積の6.7%）
- ④ 転作物（大豆・麦・そば）の団地化による作業効率向上と経営改善
- ⑤ 蝶屋・鶴来地区での米、麦、大豆の2年3作体系による生産拡大と所得確保の検討・実施
(H31年の目標面積 大豆100ha,麦50ha)



試算

	反 収	産地交付金	直接支払交付金（ゲタ対策）	(10aあたり)	
				合 計	
大 豆	180kg	35,000円	@9,040円/60kg	27,120円	62,120円
麦	425kg	15,000円	@5,690円/50kg	48,365円	63,365円



（2）きれい・うまい・安全・安心な白山米の生産と有利販売の拡大

- ① 1等米比率90%以上、玄米タンパク含有率6.5以下の米の生産
- ② 品種別作付面積の確保と契約栽培米及び直売米の拡大
 - ・品種別作付面積 コシヒカリ750ha、ゆめみづほ130ha、五百万石90ha、ひやくまん穀34ha、その他29ha
 - ・契約栽培米11,600俵（コシヒカリ8,500俵、比咩の米 800俵、もち米2,300俵）
 - ・直売米16,650俵（コシヒカリ 14,000俵、ゆめみづほ2,600俵、もち米50俵）

（3）優良種子産地の維持確保

- ① 県内優良種子産地として契約栽培量の確保と生産者育成
- ② 栽培技術励行による品質と種子採用率の向上による所得増大

2. 複合経営（水稲＋園芸）の拡大と販売力強化

（1）園芸販売高1.8億円の達成

園芸拡大5カ年計画の3年目となり、当初計画に基づく産地化の育成と所得増大

3. 地域農業の維持強化と共同利用施設の機能強化

(1) 農産物の安全確保と品質向上

生産履歴と生産工程管理（GAP）等の取り組みによる安全な農産物の出荷

(2) 省力、低コスト農業への対策

- ① 肥料・農薬等の予約率向上と農家直送による生産費引下げ
- ② 肥料の年間大口利用値引きの実施によるコスト削減
- ③ 大型農機、園芸用農機・資材購入費助成によるコスト低減対策
- ④ 直播栽培の推進を図るとともに、高密度育苗やITを活用した新技術の研究及び試験的実施

(3) 担い手の全国募集と育成支援

若手就農者の募集及び新規就農者の育成支援

マスメディア等の活用による募集と行政と連携した各面での支援

(4) 圃場整備事業の推進

農業の大規模化に向けた水田の大区画化、用排水路整備事業を関係機関と協議連携し推進

(5) 共同利用施設の改善・整備の検討・実施

- ① 育苗センターの統廃合を次期3ヵ年計画（H31～）で検討・実施
- ② 米乾燥施設の改修
2年3作体系に対応できるライスセンター（生産拡大実施地区）の改修検討（次期3ヵ年計画）
- ③ 米乾燥調製施設の大口利用対策拡大によるコスト削減への寄与
大口利用対策のランク別奨励の強化及び保有米手数料（袋代、作業賃、180円/30kg(税込)）の改定と保有米自己取りの統一
- ④ 地域農業者と一体となった農業施設運営の検討・実施
大豆、そば施設の調製、刈取作業等への生産者応援

(6) JA出資型法人(有)アグリサポート白山の取り組み強化

- ① 地域農業維持に向けた生産支援
農業生産の拡大と農作業、人材支援
- ② 新規就農者、担い手の育成・指導支援



4. 食農教育と地産地消の推進

(1) 食農教育活動の実践及び地産地消の推進

体験農園、出前授業、よい食プロジェクトの継続と学校給食への食材供給による地産地消の継続



組合員の皆さまへ

組合員アンケート調査ご協力をお願い JA白山

日々変化する社会環境の中、JA組合員の生活変化、ニーズの多様化をはじめ、地域農業の環境も大きく変わってきました。このような中、近年、当JAでは農産物直売所「よらんかいねえ広場」の新設をはじめとする様々な事業で、地域農業の振興と地域の活性化による豊かな社会づくりに取り組んでまいりました。

今日のJAの取り組みが組合員の皆さまにどの様に思われているか、また、地域にとって必要とされるJAであり続けるためにどうあるべきか等について、この度、全国一斉に実施されるJA自己改革の組合員アンケートを当JAでも実施することにいたしました。

組合員の皆さまからいただいたご意見が、今後のJA事業のあり方において大変重要になりますので、何卒ご協力いただきますようお願いいたします。

調査方法

〈対象者数〉

組合員 1,000名

対象者は無作為抽出による。

〈実施日〉

3月1日～16日

職員がお伺いします。

〈集計・分析〉

石川県中央会が行います。

理事会だより

第11回理事会

日時／平成30年1月26日(金) 午後1時30分～

審議事項

第1号議案 平成30年度営農事業方針(案)について

平成30年度の営農事業方針について審議し可決しました。詳細は本誌2～4ページに記載しております。

第2号議案 現場専門職の対象部署追加と人事規程の一部改定について
現場専門職を選択できる対象部署に営農経済部を追加するため人事規程の一部改定について審議し可決しました。

第3号議案 生乳受託販売業務規程の新設および生乳受託規程の廃止について
畜産経営安定法の改正に対応するため生乳受託販売業務規程の新設および生乳受託規程の廃止について審議し可決しました。

第4号議案 出資口数の変動について
出資減口の申し出があった組合員1名について審議し可決しました。

報告事項

- 1 平成29年12月末事業実績について
 - 2 平成29年度第3四半期自店検査結果について
 - 3 平成29年度(4～12月) 有価証券運用実績について
 - 4 平成29年度第4四半期余裕金運用方針について
 - 5 平成29年度第3四半期苦情等の受付対応処理状況について
 - 6 平成29年度第3四半期事務ミス等の発生状況について
 - 7 平成29年度第3四半期反社会的勢力等にかかる対応状況について
 - 8 平成29年度第3四半期組合員数について
 - 9 支店運営委員及び総代との意見交換会の報告について
 - 10 地区別営農座談会日程について
 - 11 平成31年度職員採用方針について
 - 12 JA自己改革に関する組合員調査(全JA事前試行調査)の実施について
 - 13 その他
- これら13項目について報告しました。



部活動応援します。 おにぎり無料配布

JAグループ石川では、県産米の消費拡大を目的として、毎月2日を『おにぎりの日』と定め、イベントなどを通じて広く県民に周知するとともに、石川県産米のファン拡大をはかる活動を展開しています。

2月2日は、白山市立白嶺中学校を訪問し、放課後部活動に励む生徒40人に、下白峰支店長が「ひやくまん穀」のおにぎりとポケットティッシュを贈呈しました。生徒を代表して吉本悠真さん、益山紗智さんが受け取り、お礼の言葉を述べました。次回は鶴来中学校を訪問します。



全員揃って記念撮影（白嶺中学校のみなさん）



はじめてのおつかい 全国「よらんかいねえ広場」で おかいものしました

日本テレビの人気番組「はじめてのおつかい！爆笑！2018年大冒険スペシャル」（平成30年1月8日放送）で、白山市在住の実緒ちゃん（撮影当時3歳）が当JA農産物直売所「よらんかいねえ広場」へのおつかいに奮闘する姿が放映されました。

地元食材にこだわってお母さんに頼まれて、一生懸命おつかいする姿に涙された方も多かったのではないのでしょうか。

放映されて以降HPへのアクセスが多くあり、その反響の大きさに大変うれしく思っております。これからも地産地消を推進する店舗として、地元の皆さまに愛される店舗となるようスタッフ一同精進してまいります。



「よらんかいねえ広場」で買い物
※2月に撮影したお買物の様子

生きた食農教育を通じて

明光小学校学童クラブ
「ピノキオクラブ」



1月4日、「ピノキオクラブ」の児童12名が、食育活動で体験した「ブロッコリーの定植から収穫まで」のフォトブックと寄せ書きを手作りし届けてくれました。

ピノキオクラブでは食農教育活動の一環として、JAグループが推進している「よい食プロジェクト」に毎年積極的に参加し、食と農の学習をはじめ、子どもたちの「心の教育」に取り組んでいます。

今年度は新たにトウモロコシの収穫体験にも挑戦しました。



ピノキオクラブのみなさんと一緒に

伝統かき餅編み体験

蝶屋小学校

1月18日、白山市立蝶屋小学校の5年生65名が、地元特産品のかき餅編み体験とかき餅作りの見学をしました。手取自然農法の会西田勉さんが中心となって毎年行っている、「いしかわ田んぼのプロジェクト」の一環です。

教室では西田さんと手取健老会の方の指導のもと、3本のビニールひもを使って器用に編み込みました。作業工程の見学に(農)井関生産組合を訪れ、12種類もの色からなる、鮮やかに広がるかき餅のカーテンに感動の声があがっていました。



2017 JA白山 みんなのよい食プロジェクト

鳥越小学校 親子でみそ造り

1月16日、白山市立鳥越小学校6年生の親子36名は、講師に女性部つるぎ支部北村静江さんをむかえみそ造りを体験しました。4班に分かれた児童たちは、管内で生産された大豆「里のほほえみ」を電動ミンサーですりつぶし、塩とこうじを混ぜ合わせ、おにぎりのように丸く握った「みそだんご」を作り、それを空気が入らないように「おいしくなぐれ」と魔法の言葉をかけてました。初めてみそ造りを体験した保護者からは、「地元の農産物に触れて、実際に造り方を深く知ることができ、子どもたちにとっても身近な食を見つめるよい機会になりました」との声が聞かれました。

この日作ったみそは各自家庭で保存し、12月頃に食べごろとなります。

なおこの様子は、(一社)家の光協会が発行する月刊誌「家の光」4月号(3/1発売)で「元気な地域づくり」として紹介される予定です。



指導にあたる
北村静江さん



食農教育をすすめる 子ども向け雑誌

「いのち・自然・食べ物・健康・農業」の大切さを小学生に伝え、思いやりと助け合いの精神を育む雑誌。

子どもたちの好奇心・探究心・創造力を喚起する、元気で楽しい紙面になっています。

(公社)日本PTA全国協議会推薦
定価483円



ちやくりん	定 価
普通月号	483円
付録月号(1・4・8号)	565円
1年間(12か月)	6,042円



家の光	定 価
普通月号	617円
付録月号(1・4・5・7・9号)	906円
付録月号(家計簿12月号)	1,008円
1年間(12か月)	9,240円

「家の光」は、協同の「こころ」を家庭ではぐくむ雑誌として、1925年に創刊された、ご家族みんなで楽しく読める総合家庭雑誌です。読者参加型の紙面づくりを大切に、感動読み物、時事問題、料理、健康、子育て、高齢者介護や農業、家庭園芸など、「得する」役に立つ、元氣が出る「記事」が満載です。

定価617円

営農だより



雪下になんじん
 ～地域特性を活かして
 園芸作物に取り組む～

今年度も雪下になんじんを「よらんかいねえ広場」へ出荷しています。

雪の下から掘り起こす作業は大変ですが、雪下になんじんは普通のになんじんに比べ糖度が高くなり、甘みやうま味の成分であるアスパラギン酸やグリシン酸などのアミノ酸含有量が増加するとともに、香りの成分であるリフィレンも増加します。

出荷は不定期なので、店頭で見つけた時は迷わずお求めください。期間限定の美味しさが味わえます。



**JA白山ねぎ部会
 設立総会**

JA白山ねぎ部会は1月16日に白山市民交流センターで設立総会を開催し、部会員数13名で発足しました。

管内のねぎ生産については平成22年から作付が始まり、選果場の整備等を行い、順調に販売金額が伸びています。部会員同士の情報交換や技術向上により生産活動に勢いをつけてさらなる生産拡大を図り、平成30年度は作付面積5ha、販売金額3、470万円を目指します。

なお、役員は次の通りです。
 (敬称略)

部会長	中手 豊
副部会長	村岸 聡
会計	大西 慎一
監事	藤田 政義



**JAプライベート商品
 試飲会**

金沢駅にあるJAグループのアンテナショップ「Aガイヤ」で1月5日、「手作り無添加米糀五割味噌」と「抹茶入り玄米茶」の試飲会を行いました。毎年この時期に行っているイベントの一つです。

鮮やかな抹茶色の玄米茶と、Aガイヤで発売以来人気のある手作り無添加米糀五割味噌で作ったお味噌汁。扱っている店舗が限られているため、普段は目にすることの少ない商品ですが、試飲されたお客様からは大変お褒めの言葉をいただき、職員は自信をもって販売することができました。



安全・安心
 心をこめて
 作っています。

(有)アグリサポート白山は

地域農業振興に向けて情報発信と営農支援に取り組んでいます

手作り無添加米糀五割味噌

地元産大豆、こうじ、塩
 すべて国産！

1年中最も寒さが厳しいとされる「大寒」を迎えた22日、アグリサポート白山では味噌の仕込み作業が始まりました。材料はすべて国産、地元産にこだわり、大豆は蒸すことによって、その栄養成分を逃さず、大豆本来の甘味を引き出しています。

白山麓に昔から伝わる製法で、究極の味を再現しました。防腐剤は一切使用していないので、風味や色合いを保つためにも、必ず冷蔵庫で保存、開封後は早めにお召し上がりください。

この商品に関するお問い合わせは

よらんかいねえ広場 076-272-3002



青壮年部

1月20日、JA石川教育センターで、平成29年度実績発表・青年の主張石川県大会が開催され、高本林支部長が「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」に賭けた男たち」と題して、実績発表を行いました。

同日は、手づくり看板コンクールの表彰式も行われ、優秀賞の館畑支部、優良賞の大神支部と蔵山支部、アート部門最優秀賞の蝶屋支部、優良賞の林支部が表彰されました。また、平成28年度JA女性組織活動体験最優秀賞作品として、手取支部浦久美子部長が活動発表を行いました。



女性部

12月27日、JA白山女性部は、地域貢献「愛の助け合い運動」の一環として白山市社会福祉協議会を訪問し、「白山コシヒカリ」80キロを寄贈しました。

清水外志恵女性部長からは「白山の恵みでできた美味しいお米です。どうぞお役立てください。」と挨拶があり、小西会長からは「有効に活用させて頂きます」とお礼の言葉をいただきました。



いち 支店 ー いち 協同活動

白峰支店

屋根雪おろし

1月10日、白峰支店職員は「白峰特産品販売施設菜さい」の屋根雪おろしを行いました。

日本有数の豪雪地帯に位置する白峰支店では、積雪のある期間に数回屋根雪おろしをボランティアで行っています。代々の支店長が必ず行っている当JAならではの地域貢献活動です。



白峰地区の中心に位置する「菜さい」

ふれあいサロン

小柳町 ふれあいサロン

を開催しました。

1月23日、小柳町公民館で新春の集い

恒例のぴんぴん体操の後は、美味しい昼食。早朝より仕込みの準備を行った6名の方々による、季節の料理がふるまわれました。午後からは地元有志のバンド「ミュージックメイト」による生演奏とビンゴゲームもあり、参加した方は楽しい時間を過ごされました。



食事はすべて手作りです



会話ははずみますね

職員対象

不祥事防止の認識を新たに

1月5日、職員新年会に先立ち、役員109名がコンプライアンス研修会に参加しました。冒頭竹内組合長から「役職員の意識改革、社会から信頼・信用される組織作りには何をすべきなのか」について訓示があり、知田監査課長からは資料に基づいて「職員としての行動規範、コンプライアンスの重要性」について説明がありました。役員一同で認識を新たに不祥事防止の意思統一を図りました。

求む! 農業経験者 JA職員の臨時募集

第2次農業振興計画における農業生産の拡大と今後の若年層育成のため、次の項目について人材を募集しています。

- | | | | |
|---------|---|-------|---|
| ■就業場所 | JA白山営農経済センター
白山市井口町は7番地1 | ■就業時間 | 原則、8時30分～17時15分
(休憩60分、実働7時間45分) |
| ■採用予定人数 | 若干名 | ■その他 | 年次有給休暇(正職員に準ずる) |
| ■雇用形態 | 臨時職員(正職員への登用実績有) | ■待遇 | 各種社会保険加入、賞与年2回、交通費支給
(当組合規程による)、その他福利厚生あり |
| ■雇用期間 | 採用日～平成30年3月31日(1年ごとに更新あり)
※採用日については応相談 | ■応募資格 | 高校卒業以上、農業・農作業経験者優遇、
普通自動車免許(AT限定は不可)、年齢は40歳迄 |
| ■職種 | 農業関連業務(農作業、農業事務、農業施設運営、出荷、配送) | ■応募方法 | 本店臨時採用担当係まで下記応募書類を
持参または郵送にて提出してください。 |
| ■給与 | 平均月給20万円～25万円
農業に関する経験・能力を考慮 | ■応募書類 | 履歴書(写真貼付)、職務経歴書 |
| ■休日 | 週休2日(勤務カレンダーによる)
年末年始(12月31日～1月3日) | ■選考方法 | 書類選考、面接 |



スタッフ募集

- | | | | |
|---------|--|-------|--|
| ■就業場所 | よらんかいねえ広場 白山市井口町に58番地1 | ■雇用形態 | パート職員 |
| ■採用予定人数 | 若干名 | ■雇用期間 | 雇用期間の定めあり(採用日～平成30年3月31日) 契約更新あり(原則更新) |
| ■職種 | 店舗スタッフ(ファーマーズマーケット)
店舗の運営、レジ、商品のカット包装・運搬・陳列、弁当惣菜の調理加工など ※仕事の内容は希望、経験、能力を考慮して決定します | ■給与 | 時給810円～850円 |
| ■休日 | 週休2日制 | ■就業時間 | 8時～19時までの間で4時間以上 勤務シフトにより決定します |



この件に関するお問い合わせ先

白山農業協同組合 本店 総務部 採用担当係 嶋田・中川
〒920-2154 白山市井口町に62番地1 TEL(076) 272-3333

共済こぼれ話
入ってて良かった...

弁護士費用保障特約



Aさんが駐車枠から後方にバックして出てくる相手B車に気づき停車していたものの、相手Bさんは気づかず、Aさんがクラクションを鳴らしても停止せずに衝突してしまったという物損事故がありました。

Aさんは自分には責任がないと主張しましたが、相手方はそれを認めず平行線でした。Aさんが責任を0%と主張される場合、一般的な自動車保険では担当者が、相手方の損保会社との交渉の窓口立つことはできません。

そこで弁護士費用保障特約の出番です。交渉窓口が弁護士になったことで、法律相談はもちろん、弁護士による相手方との交渉ができます。Aさんが訴訟準備をしたところ、相手方は訴訟前に過失100%を認め示談となりました。

これは弁護士費用特約にて訴訟まではいかないまでも相手方との示談の手助けとなるという一例です。

(共済担当Nさん)

「もらい事故」等の自動車事故で、相手方との交渉を弁護士に委任する際に必要となる**弁護士費用**等を保障します。



本店共済部または、最寄りの支店窓口へ
お気軽にご相談ください。



この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書」(契約概要)を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。お支払いには所定の要件があります。

17191510213

JA白山 平成31年度 新規職員採用について

募集要項

●採用人数 10名程度

●職 種 総合職：営農、経済、総務、信用、共済の営業と事務全般
技術系専門職：自動車・農業機械の整備及び農産物直売所

●学 歴

大学・短大・専門学校卒

●学 部 等

全学部全学科

●応募資格

①平成8年4月2日～平成11年4月1日
までに生まれた方(短期大学、専門学校
卒業・卒業見込者)

②平成6年4月2日～平成9年4月1日
までに生まれた方(大学卒業・卒業見込者)

●説明会(前期)

第1回 平成30年3月16日(金)午後2時～

第2回 平成30年3月20日(火)午後2時～

会 場 JA白山本店

●願書受付期間(前期)

平成30年3月19日(月)～3月28日(水)必着

●願書受付場所

本店総務部総務課

●選考日時

1次選考会(一般常識・作文・適性検査)

平成30年4月6日(金) 午後2時

2次選考会(役員面接)

平成30年4月20日(金) 午後2時

●応募書類

履歴書(学校指定用紙、自筆、3ヶ月以内に
撮影した写真添付)

卒業見込証明書・学業成績証明書(後日
送付可)

健康診断書(学校指定医又は公立病院の
診断書)

●選考場所

JA白山本店

●方 針

①JA白山は、協同と相互扶助を基本とし、
組合員及び地域社会への貢献活動を
推進し、明るく誠実で、目標に向かって
積極的に取り組むことの出来る人材を
採用する。

②JAの即戦力として業務上で早期の活躍
を期待出来る者、又は公的資格等を所持
する専門実務者を職員として採用する。
(含既卒者)

就職支援サイト「マイナビ」およびJA白山
ホームページ、本支店窓口において募集
案内を行っていますが、最新情報は当JA
ホームページに掲載していますので確認し
てください。また、応募受付済みの方には
随時連絡を行いますので、早めにエント
リーを済ませることをおすすめします。

採用に関するお問い合わせ先

平成31年度採用についてわからない点や疑問に思うこと
がありましたら遠慮なくお問い合わせください。(受付時間：平日午前9：00～午後5：00)

〒920-2154 石川県白山市井口町に62番地1

白山農業協同組合本店総務部総務課 平成31年度新規職員採用 担当 藤本

TEL：(076)272-3333(代) Mail：soumu@hakusan.is-ja.jp

HP：https://www.ja-hakusan.jp/



農業者年金で生涯所得の確保を!



- あなたの老後生活への備えは十分ですか?
- 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

農業者年金へは…

**国民年金第1号
被保険者**

国民年金保険料
納付免除者を除く

**年間60日以上
農業従事**

60歳未満

の方ならどなたでも加入できます。

税制面で大きな優遇措置があります

支払った保険料は全額社会保険料控除の対象となります

保険料控除分の節税額（所得税・住民税）

課税対象所得	税率	保険料月額4万円 (年額48万円)の場合	保険料月額6万7千円 (年額80万4千円)の場合
195万円以下	15.1%	7万2千円	12万1千円
195万円超 330万円以下	20.2%	9万7千円	16万2千円
330万円超 695万円以下	30.4%	14万7千円	24万5千円

※保険料支払分で控除される所得税+個人住民税の額の試算です。保険料支払後も保険料支払前と適用される税率に変更がないものとして試算しています。



- 積立方式・確定拠出型の年金です。制度発足以降15年間の運用利回りは、年率で+2.77%です。運用益は非課税で年金原資として積上がります。**

- 保険料の全額社会保険料控除の税制優遇措置もあります!**

農業者年金の保険料は2万円から6万7千円まで（千円単位で）加入者が自由に選択できます。また、保険料の額はいつでも見直します。

- 終身年金です。80歳までにお亡くなりになった場合、死亡一時金があります。**

農業者老齢年金は、原則65歳から生涯受け取ることができます。（60歳からの繰上げ受給も可能です。）

仮に80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額を、ご遺族（死亡者の死亡当時に同一生計であった、配偶者、子、父母、孫、祖父母又は兄弟姉妹の順位）に死亡一時金として支給されます。

- 納められた保険料につきましては、途中で脱退されても脱退一時金はありません。将来、年金として支給されます。**
- 脱退された方も、加入要件を満たせばいつでも再加入できます。**

私たちの  (平成29年12月末実績参考)

組合員数	6,938名(団体含)
貯金残高	70,936百万円
貸出金残高	16,657百万円
長期共済保有高	2,143.8億円
購買品供給高	1,651,397千円
販売品取扱高	1,046,634千円
職員数(パート除く)	140名

無料税務相談会 要予約



当JA顧問税理士
福田 正寛

開催日時

平成30年2月23日(金)

平成30年3月8日(木)

午前9時～12時(基本30分単位)

開催場所

JA白山 本店

お問い合わせ・お申込先(担当/総務課 小坂)

TEL 272-3333 FAX 273-0690
e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp

お申込み順に受け付けております。

